

「堺自然ふれあいの森」での取組が 第 45 回緑の都市賞で「国土交通大臣賞」を受賞しました

堺市では、南部丘陵の緑地保全の拠点施設である「堺自然ふれあいの森」で、市民協働による森づくりや里地里山に関する学習プログラムの提供、大学生を始めとした新たな担い手の育成などに取り組んでいます。

このたび、「堺自然ふれあいの森」での取組が高く評価され、「第 45 回緑の都市賞」の緑の事業活動部門で「国土交通大臣賞」を令和 7 年 10 月 17 日に受賞しました。

1 受賞取組

「堺自然ふれあいの森」が取り組む大阪府堺市の南部丘陵における拠点施設の構築

2 受賞取組の概要

「堺自然ふれあいの森」では、市民・企業・大学・堺市が連携し、里山の自然環境を保全しながら、人と自然の持続的な関わりを育むための取組を進めています。

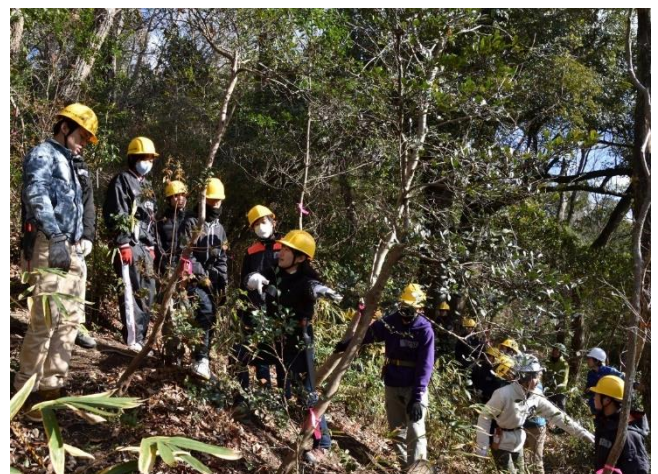
市民協働による里山の整備や動植物調査などの保全活動を基盤に、「森の学校」として自然体験や里地里山に関する学習プログラムを幅広い世代に実施し、環境教育の機会を提供しています。

さらに、南部丘陵の緑地保全における拠点施設として、里山ボランティア育成講座や大学生等を対象とした担い手育成事業を実施し、次世代の人材育成にも力を注いでいます。

近年は、南部丘陵の緑地保全の先導モデルとして、里山と人との新たな関わり方を模索する社会実験の場を構築しています。



令和 7 年度実施の自然体験プログラムの様子



令和 5 年度実施の担い手育成事業の様子

3 受賞団体

ふれあいの森パートナーズ

(「堺自然ふれあいの森」指定管理者 株式会社生態計画研究所と NPO 法人いっちゃんクラブの連合体)

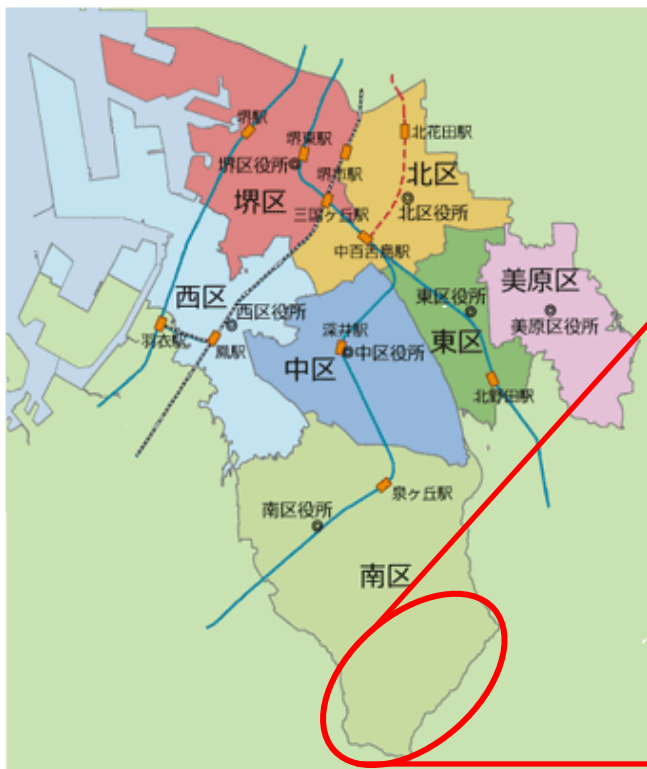
【主な活動内容】

- ・市民協働による森づくりの実践（森の整備、動植物調査等の実施）
- ・「森の学校」としての里地里山に関する学習プログラムの提供
(自然体験プログラム、小学校教職員研修等の実施)
- ・南部丘陵の緑地保全における拠点施設としての人材育成
(里山ボランティア育成講座、近隣大学生を対象とした担い手育成事業等の実施)

4 南部丘陵

堺市の最南端に広がる南部丘陵は、石津川水系の源流域に位置し、古代より緑の恵みを活用した人々の営みによって里地里山が形成され、貴重な緑の資源が育まれてきた丘陵地です。

また、南部丘陵は、市街地の近郊にありながら、雑木林や河川、ため池が育む多様な植生や動植物、農地、歴史文化資源があいまった里地里山で、本市の水系の背骨となる石津川水系の水源にもなっています。櫻井神社を始めとする歴史的な資源が点在しているだけでなく、堺自然ふれあいの森や堺公園墓地、ハーベストの丘など、豊かな自然を生かしたレクリエーションや環境学習としての施設も立地しており、市民活動団体による緑地保全活動や地域の小学校と連携した環境活動が行われています。



5 緑の都市賞

樹木や花、水辺などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組み、環境や社会に対する貢献の実績と成果を上げている市民団体、企業、公共団体等を顕彰し、快適で地球に優しい生活環境の創出を目的とした賞です。

主催：公益財団法人都市緑化機構

特別協賛：一般財団法人第一生命財団

後援：国土交通省ほか

部門：緑の市民協働部門、緑の事業活動部門、緑のまちづくり部門

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：建設局 公園緑地部 公園緑地整備課 電 話：072-228-7424 ファックス：072-228-1336
----------------------------	---